日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	特別演習 1	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	『第3版コンパクト建築設計資料集成』、課題資料、参考資料を配布し、参考書等は授業中に指示する				
担当教員情報					
担当教員	加瀬谷章紀、黒澤保幸、中村高淑、遠藤隆洋、丸山尚子	実務経験の有無・職種	有・建築設計		
学習目的					
幅広い教養や知識、多様な要素を総合的に判断する能力が求められる。特別演習1では、「設計計画1」で修得した考え方や図法などをふまえ、各課題の建築設計を通じて、建築設計における知識と設計技術の総仕上げを行なうことを学習目的とする。計画・構造に加え、設備・法規等の技術的知識の総合化を図ることを学習目的とする。さらに、習熟レベルが高い学生については、与件を充足させるにとどまらず、街並みとの調和や外部と内部の関係性などを考え、建築設計コンセプトを構築することに取り組むべく、指導を行う。					
到達目標					
住宅を設計するときの様々な条件を理論的に全て満たしながら、現実的に建設することのできるかつクライアントが住みやすい建築空間を企画・提案し、設計実務における基本設計（企画・提案）に必要な各種図面とプレゼンテーション模型を一式揃え、クライアントにプレゼンテーション（説明）できる力を養うことを目標としている。また、これまで配慮して来なかった各部の納まり（ディテール）や家具にもこだわりを持ち、美しい空間・物を作るデザイン意識を身に付けることを到達目標とする。					
教育方法等					
授業概要	優れた建築の見学に努め、建築雑誌に掲載された建築作品について研究するなど自主的な学習態度が望まれる。予習事項は授業の最後に指示する。復習は、授業をうけた日に必ず行い、設計に対する考え方や建築用語等を確実に修得するよう努力する。課題、並びにエスキス案については、授業内でポイントの解説を行った上で、各自振り返りに活用し、知識・技術の定着を図ること。				
注意点	提出物を提出しないものは、次課題に進むことができない。また、授業に必要なもの（例えばパソコンなど）は各自の判断により、授業中の使用が必要な場合は持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	提出物	60%	各課題の提出物を総合的に判断し評価する。		
	エスキス図面・モデル	20%	各回のエスキス時の図面・モデルを総合的に判断し評価する。		
	平常点	20%	各回の授業態度を総合的に判断し評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	第1課題：オリエンテーション	第1課題に関する事例や資料の収集等を行うことができる。			
2回	第1課題：エスキス1	収集した資料等からエスキス案を構想することができる。			
3回	第1課題：エスキス2	構造等を反映した平面図を作成することができる。			
4回	第1課題：エスキス3	構造等を反映した断面図を作成することができる。			
5回	第1課題：エスキス4	詳細な平面図・断面図を作成することができる。			
6回	第1課題：エスキス5	計画案に即した模型を作成することができる。			
7回	第1課題：第一課題提出・採点	計画案をプレゼンテーションすることができる。			
8回	第2課題：オリエンテーション	第2課題に関する事例や資料の収集等を行うことができる。			
9回	第2課題：エスキス1	収集した資料等からエスキス案を構想することができる。			
10回	第2課題：エスキス2	構造等を反映した平面図を作成することができる。			
11回	第2課題：エスキス3	構造等を反映した断面図を作成することができる。			
12回	第2課題：エスキス4	詳細な平面図・断面図を作成することができる。			
13回	第2課題：エスキス5	計画案に即した模型を作成することができる。			
14回	第2課題提出・採点	計画案をプレゼンテーションすることができる。			
15回	第2課題：講評会	他者のプレゼンテーションを聴講し、評価することができる。			